

33th O9 Race



先生たちも参加するよ!

先生たちに勝つスゴイ
O9カーを期待しているぞ!!

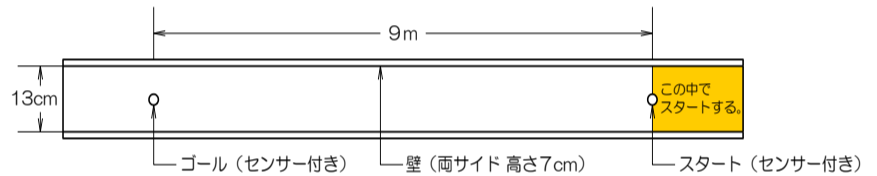
(1) O9レースとは

笠岡工業高校電気情報科1年生の情報技術基礎の夏休みの宿題はO9カーの製作でした。そして、2学期の始めに宿題の発表会としてO9レースが開催されました。2学期の授業を終えて、冬休みの宿題はO9カーの改良でした。いよいよ授業で得た電気の知識や技術を発揮する時です。夏休みのO9カーがどれだけ速くなったか期待しています。

主催：岡山県立笠岡工業高等学校電気情報科

(2) 大会目的

工業高校と言えば、ものづくりです。いくら工業の知識を身につけても、ものづくりができなければいけません。まずは自宅でも作れるO9カーの製作を通して、ものづくりに触れてみてください。レースを通して、ものづくりの楽しさや難しさを体験する事がO9レースの目的です。創意工夫を活かしたO9カーを製作してくれる事を期待しています。



※コース幅は場所により多少狭くなったり、凹凸があったりします。車体の大きさは多少余裕を持たせると両サイドにローラーをつける方が良い。

(コース)

(3) 大会日程

日時：令和3年2月19日(金) 2、3校時
場所：岡山県立笠岡工業高等学校実習室
参加者：電気情報科1年生、電子機械科生徒、教職員

決定!!

(4) O9カーについて

- O9カーは本人の手作りのものとし、動力エネルギーは電気のみとする。
- O9カーの大きさは幅12cm、長さ40cmまでとする。また、部品はO9カーに全て積み込む。
- 必ずタミヤのツインギアボックスとマブチモータ130(ツインギアボックスに入っている)を使用する。
- ギアボックスとモータの改造は自由とする。ただし、既製の高級モータを使ってはいけない。
- モータが壊れた場合には、マブチモータ130を購入して使用する。
- 他の部品については自由とする。
- スピードが出るとコースの壁にタイヤが当たって停車する。そのため、車の四隅にローラーを取り付ける事が望ましい。



(5) コースについて

- コースは図のものとする。
- スタートポジション内で、静止させた状態でスタートさせる。
- スタートとゴールのセンサーにより、車の通過を認識しタイムを測定します。
- コースは生徒が製作したものであり、所々に突起物があるが、配慮はしない。

(6) レースについて

- 測定の順番、コースは抽選により決定する。
- 走行は2回行いベストタイムが記録となる。
- スタートできない車は棄権、スタート後にゴールできない車はリタイアとする。
- スタートの時はO9カーを押し出してはいけない。
- 1回目と2回目のレースの間に調整時間を設ける。

(7) 表彰について

1~3位(全て賞状と賞品あり)
技術賞(数名)

(8) その他

- 初めてのものづくりは時間がかかります。そのため、製作は早めに取り組もう。
- 材料の仕入れには時間がかかります。また、部品が壊れた場合は、自分で購入しなければいけません。そのため、早く取り掛かりましょう。
- 何か困ったり、工具が借りたい場合は、早めに相談に来てください。
- 評価は評価表に従って行います。よく確認して取り組んで下さい。**

